

## 令和 2 年度

### 第 10 回（1 月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和 3 年 1 月 25 日（月） 15 時 00 分～15 時 50 分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 清水 道直・林 百代・出羽澤和子・薄田 東

事務局：教育次長 伊藤 弘美

書 記：池上 博子

以上 7 名

傍聴人：なし

#### 1 開 会

#### 2 教育長あいさつ

本日伊那法人会様から消毒用アルコール 2 缶と 6 年生「租税教室」の学習資料をお預かりしました。学校で活用させていただきます。1 月の定例教育委員会です。よろしく願いいたします。

#### 3 報告・確認事項

##### (1) 児童・生徒数について（会議資料 1）

資料にもとづき、報告がなされた。

##### (2) 事故報告（会議資料 2）

非公開

##### (3) 社会教育委員との懇談について（会議資料 3）

###### <教育長>

- ・地域での子どもたちの活動について、12 区の区長さんにお話をお聴きしました。＊会議資料にて各区の様子を報告。
- ・区全体の作業に若干子どもが参加する様子がある。
- ・お祭り・敬老会等や天神様等子どもたちの活動を全区で大切にしている。
- ・「地域の子どもは地域で育てる」ことについて、社会教育とも重ねて子どもたちがどんな動きをしているかを考えたい。
- ・キャリア教育を考えた時に、先ほどの区における仕事（作業）等が地域での暮らし・ムラ仕事が育ちの土台、故郷をため込む土台になるのではないかと考える。

※各校で学校から地域に出て、また地域の方が学校に来られての学習活動について報告

- ・このようなことについて社会教育委員と懇談を持ちたいと考えている。教育委員の皆さんフリートークでお願いします。

#### <教育委員>

- ・近所の子どものことを知らないと改めて思う。
- ・地区行事で子どもを紹介するときに以前は屋号で「〇さんちの子」と紹介したが、今は少なくなってきた。
- ・行事等の精選により、中学校の地区PTAがなくなったのが大きい。
- ・小学生までは地区行事に参加するが、中学生になると距離ができる。中・高校生は主体的に企画・運営側になり、地区行事を引っ張っていくようになればと思うが…。部活動などあり難しい。
- ・自分の隣組の子どもまでは何とか分かるが、違う組になると分からない。以前地区の役員の方が「行事等を企画しても子どもが参加しない」という言葉を聞いたことがある。
- ・今年の「どんど焼き」は、しめ飾りなどを子どもが集めに回るのはではなく、各戸でどんど焼きの場所に持ってくる方法をとった地区もある。住民と子どもがふれあう機会が少なくてきている。
- ・最近、子どもたちが挨拶をするようになってきている。

#### <教育長>

- ・地域の中で子どもを育てる営みを丁寧に観ていきたい。また、地区で所謂ボランティア的に井汲い等の活動が行われている。賃金にはならないがこのようにこと・ムラ仕事を持続可能にしていくことに子どもを巻き込む・地域の担い手になっていく営みを「故郷をため込む」観点で考察したい。区長さんてすごいと改めて思っています。社会教育委員との懇談会は2月5日（金）19：00から村民センターで行います。よろしくお願ひいたします。

#### (4) 各委員から（課題、希望）（口頭にて）

卒業式がコロナ禍の関係でどうなるか不透明であるが、PTA 会長・学年PTA 会長さん等、保護者と卒業式のもち方などについて共有していくことを願う。昨年度は、コロナに関しての情報が少ない中で行ったが、今年度は対策・配慮事項など分かっていることもある。卒業式は大事な式。

#### (5) 1月事業報告・2月事業計画について（会議資料4）

資料にもとづき、報告・確認がなされた。

#### (6) 2月・3月定例会について

2月19日（金）15時から 予定

3月25日（木）15時から 予定

#### (7) その他

特になし

## 4 閉会

以上